

会 議 録

第8回地域の学校教育のあり方を考える会

地域の学校教育のあり方を考える会

事務局 多可町教育委員会教育総務課

第8回地域の学校教育のあり方を考える会 会議録

■日 時 令和3年9月2日（木）午後7時00分～午後8時10分

■会 場 八千代コミュニティプラザ

■出席者 25名／29名（敬称略）

- ・会 長 宮崎 信彦 ・副会長 橋本 衛 ・副会長 伊藤 竜太
- ・委 員 藤原 恵美 多方 正行 西田 修 熊田勝彦（欠）足立 浩之
藤田肇秀（リ）安藤 和志 堀口 善弘 笹倉 敏弘 植山 恵（欠）
寺尾元基（リ）足立 吉継 藤田貴久（リ）植田 美香 中里尚子（欠）
西村 恵子 藤村紗綾佳 岩本亜希（リ） 宮崎あゆみ
長澤高意（リ）神崎進吾（リ）足立徳昭（リ）大久保修也（欠）荻野学（リ）
吉田重徳（リ）竹中裕貴（リ）

※（欠）は欠席、（リ）はリモートによる参加

【事務局】

- ・教育長 越川 昌信
- ・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
- ・学校教育課長 吉田 勇二
- ・学校教育課副課長 吉川 成悟
- ・教育総務課副課長 山本 聡
- ・教育総務課主査 有田 好孝
- ・教育総務課主査 安平智香子

■傍聴人 4名

■議題

- （1）次第3（1）会議録の承認について
- （2）次第3（2）小学校について

■会議結果

- （1）第7回会議録が承認されました。
- （2）委員による意見交換を行い、小学校について意見交換を行いました。

■会議の経過

次第 1. (事務局)	<p>開会 ただ今から『第 8 回地域の学校教育のあり方を考える会』を開催いたします。</p> <p>資料の確認と注意事項 会議を始める前に、資料の確認と注意事項がございます。</p> <ul style="list-style-type: none">○資料の確認○注意事項（紙面により）<ul style="list-style-type: none">・会議録作成のための録音・会議録は委員承認の上、後日ホームページで公開・傍聴希望者への注意事項○リモート会議の注意事項<ul style="list-style-type: none">・必ずマイクを使って発言してください。・マイクは除菌シートで拭いてから次の方へ回してください。・リモート参加の委員は、ミュートを解除してからお話しください。
次第 2. (事務局)	<p>会長あいさつ それでは、次第に沿いまして会議を進めさせていただきます。 次第 2 でございます。会長あいさつをお願いいたします。</p>
(会長)	<p>みなさんこんばんは。コロナが猛威を振るっている状況の中、みなさんご参加いただきまして誠にありがとうございます。今日も 8 時までという時間的制約の中での会議となりますが、本日もよろしく願いいたします。</p> <p>前回の会議では、中学校について方向を出していただきました。『統合も仕方ない』ではなくて、『早く統合して欲しい』といったお叱りに近いようなご意見をいただいたところです。なるべく早く統合するために、その課題について一つ一つ潰していく、みなさんの意見を聞かせていただきたいと思っています。今回は、最後に小学校についての意見を 2～3 人の方から聞かせてもらって終わりました。本日はみなさんから小学校についてご意見を聞かせてもらえればと思います。限られた時間ではありますがよろしく願いいたします。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございました。</p> <p>本会議は、設置要綱第 6 条第 2 項により、本日の出席者はリモート参加を合わせまして 25 名であり過半数を超えておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。</p>
次第 3. (事務局)	<p>議事 次第 3. 議事でございます。</p> <p>ここからは、要綱第 6 条の規定によりまして、宮崎会長により進行をお願いしたいと思います。会長よろしく願いいたします。</p>

(議長)	<p>それでは、ここから議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>議事の前に、会議の公開、非公開、傍聴について一括してお諮りいたします。</p> <p>会議の公開、非公開については、特別非公開とする事項はないものと思いますので、公開会議を提案します。</p> <p>次に、本日の傍聴希望ですが、特に傍聴要領に違反されている方もいらっしゃるらないので、設置要綱第9条の規定により許可したいと思いますと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
(議長)	<p>それでは、傍聴を許可したいと思います。事務局、注意事項をお願いします。</p>
(事務局)	<p>はい、傍聴者の注意事項につきましては、お渡ししております「傍聴を希望される方への注意事項」をご確認ください。</p> <p>本日の会議資料とあわせまして、過去7回の会議資料を傍聴用として準備しておりますのでご覧ください。ただし、持ち帰りはできませんので、よろしくお願いいたします。必要な方は、教育委員会のホームページから資料をダウンロードできますのでご活用ください。以上です。</p>
(議長)	<p>傍聴人の方々におかれましては、会議の運営にご協力をお願いいたします。</p>
議事(1)	会議録の承認について
(議長)	<p>では、議事に入りたいと思います。まずはじめに、議題(1)会議録の承認についてです。事務局お願いします。</p>
(事務局)	<p>はい。出席のみなさまから、議事録承認書の提出をいただきました。リモートで参加されている委員様の会議録承認書が揃い次第、ホームページで公開したいと考えております。ありがとうございました。</p>
(議長)	<p>それでは、本日出席のみなさんからの承認をいただいたとのことですので、本会で承認したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
(議長)	<p>それでは、会議録承認書が揃い次第、この内容でホームページでの公開をお願いします。</p>
議事(2)	小学校について
	<p>続きまして、議事の(2)「小学校について」に入っていきます。前回、中学校について「統合」という方向性を出していただきました。その際に、小学校について少し意見を伺ったままで終わってしまいましたので、本日は小学校についてご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>住民説明会の意見の中には、小学校についても統合を急いで欲しいという意見や将来統合は仕方ないが今はそのままと言う意見。いや、小学</p>

校の統合は反対といったご意見がありました。

小学校については、将来的にこのまま現状で維持するのか、どこかで統合するのか。どうなれば統合を検討するのか。委員のみなさまのご意見をお伺いしたいと思います。

その前に事務局から資料の説明があります。事務局お願いします。

(事務局)

はい。事務局より資料の説明をいたします。

・小学校児童数の推移について (事務局より資料提供)

・欠席された委員の意見について (事務局より資料提供)

以下、欠席された委員の意見を掲載します。

(委員)

小学校の統合については、賛成・仕方ない。

①理由

近年の出生数減少による近未来小学校の単学級・複式学級へ移行するため。

②統合の時期 中学校統合と同時期。

③統合の形 町全体で小中一貫校 (小中一貫校の内容は、よく存じておりませんが。近隣地域でも取り組まれておりますので。また勉強しておきます。)

④課題や要望等 小学校低学年児童のバス通学の不安 (現在でも、幼稚園児がバス通園している。保母さん付き添いではあるが。)

私の場合、どうしても事業の合理性が先に頭に浮かんでしまいます。現役のお父さん、お母さん方からお叱りを受けそうですね。

(委員)

小学校の統合については、賛成・仕方ない。

①理由

複式学級等になると人間関係が固定化したり、授業での学び合い、深め合いが十分にできにくい状況が生まれたりすることが考えられる。学校生活を活性化し、児童の成長をより支援するためにはある程度の人数が必要である。また、複式学級規模になると教職員の負担も多くなるのではないか。

②統合の時期 複式学級規模になる時。

③統合の形 区ごと。

④課題や要望等

今後、学校現場のオンライン化が進めばそれを活用して離れた学校でも交流や授業が行える面も出てくるかもしれない。オンライン化だけではなく、様々な面で小規模校を支える環境整備を進めてほしい。

(委員)

小学校の統合については、賛成・仕方ない。

①理由

子どもの数がこの先減ることが分かっているのに、現状を維持することの方が、財政の問題が起き、より先生や子どもたちに負担をかけることになるのではないのでしょうか。町内の小学校統合で命の問題まで起きるほど、やはり子どもたちに負担はあると思いますので、心のサポートが必要だと思います。

②統合の時期 まず先の中学校の統合後、3年以降。(例えば中1の子

どもたちが中 3 になってどのように新しい学校生活をしていたかなど実際に子どもたちの良い意見・悪い意見が聞けるのではないか)

③統合の形 町全体より、町内の小学校統合の問題があるので、区ごとが良いと思います。

④課題や要望等

やはり、容易に変化についていける子とついていけない子がいるので、心のサポートが必要だと思います。

以上、資料より

(議長) それでは、順番にみなさんの意見をお伺いしたいと思います。

(委員) 小学校の人数も今後少なくなっていくペースも早くなっていくので、できれば統合をと思っています。その時期は、多少、中学校より後になっても構わないかなと思っています。統合の形については町全体でと思っています。その時の課題としては通学時間がかかること、みなさんも通学がネックになると思いますので、その対応をお願いしたいと思います。

(委員) この資料を見る限り、令和 9 年度ぐらいまでは、どこの区もこれから先もっと人数が減っていく傾向にあると思いますし、分かっていることですので、やはり小学校の方も統合を考えていく方が良いのではないかと思います。時期についてですが、中学校の統合が終わった後の方がよいのかなと思います。1 学年に男の子 1 人、女の子 1 人の学年もありましたし、女の子 1 人に対して、男の子数名といった学年も出てきましたので、それが見えてきた時では遅いと思いますので、令和 9 年度よりももう少し先ぐらいに統合を考えていったら良いのではないかと思います。

(委員) 資料を見ますと中区、加美区、八千代区それぞれの小学校で 1 学年 1 クラスの学年が増えていっている傾向にあることがまざまざと示されています。その中で、基本的には小学校についても統合せざるを得ないと感じています。ただ、区によって小学校の立地条件も違う。加美区でしたら北の方と南の方、中区はそうでもないですが、地理的な条件がそれぞれにあたりして、それを解消するための方策も一緒に考えていかないとすんなり統合できないのかなと思います。中学校が統合した後、小学校を統合する方がよいのかなと思います。統合をする時に学校の校舎を新たに建てる、建てないということで、例えば小学校を統合した時にどちらの小学校に統合するのか、中学校の校舎を新しくすることによって既存の中学校が空いてきますので、比較的中学校は区のある中心にあるので、中学校を利用して小学校を造るとかいろいろな考え方が今後出てくると思います。今後、中学校を統合する時に、ある程度小学校の将来のあり方も考えて、最終的な統合は、中学校の統合の様子を見た上で、小学校を統合すればいいのではないかと感じています。

(委員) 前回小学校は統合しないほうが良いと言ったのですが、長い目を見た時にはいずれは統合、これは仕方がないと思うのですが、できる限り小

学校は今ままでという意見です。一つの目安として中学校は先生の数の問題があった。各教科に専門の先生が要するという問題。それが一つの目安となったのですが、小学校で何か目安になるようなものがあれば、提示していただければわかりやすいかなと思うのです。令和15年度に八千代中で44名になっていますが、それに対する先生の数とか。前回も言いましたが、低学年は複式学級もありかなと私は思います。高学年になると次の中学校への問題もありますので、複式学級は難しいかなと思うのですが、何らかの小学校が統合する時の目安を提示してもらえたらわかりやすいかなと思います。それと、多可町として小学校を統合するのであれば、中学校は統合するとして、そうならば小中一貫といえますか、中学校の辺りに小学校があった方がいいのではないかなと思うので、統合中学校の場所を考える上において、小学校も隣接してあった方が長い目で見たらいいのではないかなと思います。

(議長) 目安について事務局と相談させていただきます。

(委員) 結論から言いますと統合が望ましいのではないかなと思います。統合するならば区ごとでまずは統合するのが望ましいかなと思います。基本はやはり小学生ですので徒歩通学が考えられますが、しかし、こればかりは距離がだいぶあります。多可町は縦に長いので、交通機関、バスを使っている登校となると思いますけども、基本は小学生であれば徒歩通学が望ましいと思いますけどもなかなかそういうわけにはいかないと思います。通学、通学路の再検討も十分に踏まえて、できれば統合の方向へ進めたらと思います。

(委員) 私も中学校をまず統合して、中学生にあがる小学生の環境とかを研究しながら、その後早い時期に小学校の統合をされたらいいのかなと思います。八千代の場合は、3小学校が統合して、八千代小学校で学んでいるわけですが、その中で不便なところとか、これがいいなと思うところとか、そういう情報がありましたら八千代の先生方からご意見なり資料なりいただけたらと思います。統合は大変な労力が必要ですが、統合を経験した孫の話の聞いていると、慣れたら一緒なのかなと思いますけども、もっといい方法がないかを研究してはどうかと思います。

(委員) 統合に賛成です。統合の時期ですが、中学校と同じ時期でいいのかな。町全体で小中一貫校も考えていけばいいのかなという思いもあります。小中学校と統合時期がずれた場合、このような会議を小学校の時も開催するのであれば、それもかなりの労力となるので、このような会議をもう一度することになるのでしたら、同じ時期に統合した方がいいのかなと思います。統合の形、町全体か区ごとかは、今のところはどちらがいいかわかりません。中学校と同じ時期だったら小学校も町全体がいいのかなと思います。その時の課題や要望については、場所をどこにするのか、歩いて行けないので通学手段はどうするのかということも思っています。

(委員) この前、最後に発言した時には、小学校の統合は反対と言わせていただいたのですが、その後、小中一貫校のことについて考えたのですが、加東市は小中一貫校で決まって、現在建設中と聞いていますが、小学校

の統合については、いずれはやむなしかなと思っています。この人数見たらやむなしと思うのですが、小中一貫校だったら一学年当たりの人数が変わるわけではないので、施設の位置としては、町は助かるのかなと思うのですが、子どもの発育面ではマイナスになるのかなと思っています。それよりもクラス替えができるクラス数を維持する方がいいのかなと思います。集団に馴染めない子どものケアについてどうするのかという問題ですが、学校の統合とは切り離してしっかりケアできる体制をつくる必要があるのかなと思います。

(委員) 令和9年度までの人数を見ますと、何とかこのまま少人数でいけるのかなと思うのですが、これからの出生数とか見て、人数が増えずに一クラスの人数が10数人とかのクラスが増えてくるのなら、区ごとではなくて、町全体で統合するのがいいのかなと思っています。長い目で見れば、区ごとに統合しても、近い将来、町全体で統合せざるを得なくなるのではと考えています。

(委員) 統合は仕方ないのかなという意味での賛成です。統合の形は小中一貫をイメージしています。学校行事や保護者の負担も考えて。なので時期も自ずと中学校と同時期にことが済めば、いろんなことが省略できるのかなと思います。

(委員) 統合については仕方ないと思っています。タイミングについては中学校の統合の何年か後の方が、気持ちとして少し余裕が持てるのかなと思います。統合の形については、まずは区ごとの統合の方が、子どもたちの身体的な負担等がなくていいのかなと思いますが、ただいつかは町全体での統合ということも近い将来必要になってくると思うので、小中一貫校のメリットとかをしっかりと考えて、メリットがあるのであれば、まずは区ごととかの段階を踏むのではなく、町全体の統合についても考えていけたらと思います。

(委員) 統合がいいかなと思います。時期は中学校が統合した後、何年か後で、統合の形としては町全体でいいかなと思います。通学の面をどうしていくのか。中学生よりも小学生の方がまだまだ体力がないので、バスになったとしても朝早く起きないといけないこともあるので、そういう面を考慮していただけたらと思います。

(委員) 中学校の統合については早い対応をとっていただけてうれしく思っています。今、小学校の対応を聞いておきまして、小学校低学年の通学ということ考えた時に、多可町で1校というのはどうかなと危惧しているところですが、段階的に区ごとに統合し、様子を見ながら町全体で統合する形をとっていただければ、子どもの対応などもしやすいのではないかと考えています。

(委員) どちらとも言えないという方向です。理由は、現在の小学校の教育がすごく手厚くて、現状に対して困っているところがなくて、逆にすごく満足しているので、できれば現状のままの方が有り難いと思います。通学時間は短い方が小学生にとっては絶対いいと思うので、バスに乗っても時間がかかるので、今のままでもいいのかなと思うのですが、統合も

仕方がないという方向のどちらとも言えないという立場です。具体的にはわかりませんが、現状のままできる限り、手厚い教育が受けられて、短い通学時間であるということが私にとっては望ましいので、どちらとも言えないで意見させていただきます。

(委員)

小学校の子どもも減っていく、中学校の子どもも減っていく中で、中学校を統合しました、小学校を区ごとに統合しました、町全体で統合しますというのも大変だと思うので、小学校も中学校も全部ひっくるめて、小中連携の小学校中学校を一つ造れば、児童が減ろうが、生徒が減ろうが、多可町で教育するならここという、教育の拠点みたいなところを整備していく方が、子どもたちにとっては有用ではないかと思っています。するのであれば覚悟を持って全部をひっくるめて統合する、統合しないのであれば覚悟を持って少人数で、多可町はこういう教育をしますという方向を示していただけたらと思います。

(委員)

みなさんの意見を聞きながら、統合も考えなければいけないなと思っています。合理的に考えると同じ時期かなと思ったのですが、人数などを見ていると中学校統合の後にするのが望ましいのかなと思います。統合の形としては、区ごとに小学校が一つずつ残ったらなと思うのですが、令和9年度になると八千代区の児童数が減って行って、結局町全体で統合という話になるのかなと思うので、みなさんが言われている小中一貫校なども考えていかなければいけないのかなと思うので、小中一貫校について勉強していけたらと思います。

(委員)

難しいところですが、人数のことだけを考えたら統合ということになるし、子どもたちが多い方がいいというのも分かるのですが、統合はできても、新しく地域に学校を造ることは不可能ですので、少人数の中で子どもたちが学べる環境がある、地域で育てる環境があるところを、それを一緒にしてメリットはあるけども、地域で育てるコミュニティ・スクールの考え方、地域の中の学校のポジションがあると思うので、それは特徴の中で、簡単に学校を無くしてしまうような形でいいのか。一つは中学校の場合は専科の専門性の形で教科指導の免許もあるのですが、小学校は小学校ということで担任の先生が教科を教える関係もあるのですが、僕としては簡単に、簡単ではなく苦しいと思うのですが、地域に大事にされていた学校が無くなるということの方がダメージが大きく、まちづくりにも関係してくると思うのですが、その辺りが、地域の方が理解していただけるのかというのがある。10人ぐらいのクラスを担当したこともあるのですが、外に交流に行ったりとか工夫ができたので、少ないから悪いではなくて、少なくて良かった面も多かった経験もかなりあるので、小学校は1人2人になったら考えていかなければいけないと思うのですが、令和9年ぐらいの児童数だったら早急に統合しなくてもいいという意見です。

(委員)

小学校に関しては複式学級が見えてくるまでは各地区で残してはどうかと思っています。複数の学級があって、クラス替えができるというのは大変魅力的なんですけど、子どもたちの生活圏を考えると学校を残す方が上かなと思います。統合するにしても各区ごとの統合が望ましいのではないかと考えます。一緒になるのは中学校になってからでいいのかな

と考えています。

(委員)

前回もお話ししたとおりで、同時というわけではないのですが、同じ場所に小中一貫を目指して、同じ時期から始めて統合を進めるべきではないかな。ただし、小学校は少しずつすべきだと思います。例えば、今小学校は担任が全てを教えると言われていますが、国では段階的に35人学級を進めています。令和3年度から令和7年度までで小学校は全学年35人学級になります。それと同時に小学校高学年で教科担任制を来年度から実質進めていくことになります。つまり、小学生が学級担任制ということは、中学生に向けて教科担任を進めていくということです。理科の専科、英語の専科、音楽の専科でやっているのですが、さらに算数の専科、2クラスあるので担任を交換して社会と体育の専科というように、高学年は2学期から中学校に向けた取り組みをしています。従って、このような流れでいくので、いずれは中学校と変わらない形になっていくので、いずれは小中一貫を進めていく必要があるのかなと思います。その時の令和9年度をみますと575人の小学生がいるとなっています。単純に35人で割りますと16クラスになります。16クラスになると相当な建物になると思います。その推移を見ることは必要で、小中同時に統合を進めるというよりは、3年から5年ぐらいの間を見て、その後に中学校統合後、小学校を統合したらいいと思います。ただ、統合というのは、積極的に進めていかなければ、他市町は本当にそのような方向に進んでいますので、みなさんの意見を聞いていても躊躇している暇はないのではないかなとは思っています。それから、子どもの心のケアのことについては私も非常に大事なことだと思います。大勢の違う地域の子どもたちが集まってきますので、その子どもたちのケアをどのようにするか。やはりそのためには教員の配置をしっかりとしなければいけないと思います。県で配置される先生の数は決まっていますので、それよりも必要な場合は町費できっちりと対応できるような措置をとっておかなければいけないと思いました。それから通学の話ですが、通学は学校から遠い子どもに不利にならないように、やはりそこもしっかりと路線バスとかではなくてスクールバスがしっかりと、自転車で一番遅い子が帰る時間までには家に着くとかそういった形のものができるように財源を確保しないといけないと思います。気になるのは建物ですね。建物を造った時に財源がきちんと確保できるのかどうか。生涯学習センターの建設もあると聞いております。そういった中で、多可町で財源をきっちり確保する、通学バスの財源を確保する、心のケアをするために人件費を確保する。そういうことを全部含めた上でやらなければいけない。それをしっかりと考えて積極的に統合を進めていけばいいと思っています。

(委員)

小学校の統合については、私は多可町で複式学級が出た時に統合という線が出ていましたので、その方向で、今回の中学校の統合とずらして小学校の統合は考えるべきかなと思っています。小学校の統合区域は、多可町全体ではなく区ごと、加美区、中区の小学校統合で、複式学級の発生タイミングでじっくりと考えるべきで、早急に統合すべきではないと思います。統合に関しては、広範囲になるのでバス通学についても様々な整備や準備、路線バスではない形が望ましいかなと。バスが必要になるそのタイミングが、学校の運営に非常に大きな影響を与えますので、バスの整備が必要。もちろん統合学校の場所についても十分な議論

が必要かなと思っています。小中学校同時ではなくて、小学校の統合については、もう少し後にすべきかなというのが私の意見です。

(委員)

この状況から統合ありきかなと思います。複式学級が出てきた中で、どうしても規模が小さくなるいろいろな考え方の子がいればいいのですが、少ない人数の中でその考えが合わない子がいれば、なかなか厳しい状況が出てくる。いろんな子がいて、それに合う、合わないが出てくると思いますが、自分の所属できる環境を考えていく時、ある程度人数は必要かなと思います。小学校においては、いろいろな経験を積む、いろいろな考え方を、多様な考え方を生み出せる環境を作るためにも、社会性を育てるためにも、規模的なことを考えるとかなり児童が減少していますので、統合せざるを得ない状況であると考えます。統合の形の理想は区ごとですけど、令和9年度以降ぐんと減ること考えていったら、町で1校にしないといけないのかなとそんな気持ちでいます。将来的なビジョンを立てて、目先だけで、まず区で統合して、次に町全体の統合へ移行する2段階となると大変だと思うので、長期的なビジョンを立てながら、進めていく必要があるので、町に一つの小学校、中学校がいいのかなと思いました。最後に統合に向けての心配事、課題ですけど、通学方法については心配があると思います。一番遠くから歩いてくる子が小学校では45分くらいかかります。バスにしてもそれくらいの時間の中で収まるべきかなと思います。それで町で1校にできるのかという課題はあると思いますが、これから調査しながら考えていかないといけないかなと思うのとスクールバスが非常に有り難いです。路線バスだったら非常に時間に制約されてしまい、その時間にしか子どもたちは帰れない。その時間に追われて急いで帰さなければいけない状況があるので、ある程度融通の効くスクールバスがあれば有り難いと思います。それ以外にも統合した時の心のケア等がありますけど、前もってリモートなどで各小学校が交流をすとか、中学校でも同じですが、交流を進めていくような準備が必要だと思いますし、先生の人員確保であるとか、先生に向けての統合に関する研修も必要かなと思います。長期的ビジョンの一つとして小中一貫もありかなと思いますが、一度にするには難しいと思いますので、時差をつけながら、中学校、小学校の順番で進めていけばと思います。

(委員)

この人数を見ていますと行く行くは統合が望ましいのではないかと感じています。3小学校が統合した時の、複式学級が出てきた時というのが一つの目安になると考えています。その時の統合というのは区ごとが一番いいのではないかと思います。ただ、統合の時期であるとか、小中一貫を含めた方法については、まだまだ慎重に議論を進めていって、住民の方に将来が見えるような、理解が得られる形で、進めていく必要があるだろうと感じています。

(副会長)

統合はいずれする必要があるかなと小学校については思っています。時期ですが、人数を見ますと4年生から5年生のところで133人から84人に50人近く減っている。それ以降10人減って、20人減ってと増える要素がなかなか見つからない中で、令和10年になったら50人になるかもしれないという中で、令和11年くらいで全ての学年で3クラス以下になると想像できるので、その辺りが一つのタイミングかな

と思います。統合の形ですが、小中一貫がいいのかなと思っていますが、その良さを勉強する必要があると感じています。

(副会長)

小学校につきましては、最終的には統合する方がいいだろうと思います。多可町の小学校の最終形を想像した時に、やはり多可町で1校なんだだろうと思っています。そうなってくると小中一貫校を見据えて、場所は統合中学校のそばに造るべきだろうと思っています。時期については、中学校と同時ということは混乱が大きいと想像できますので、中学校の統合後ということになります。小学校の子どもたちが少なくなり過ぎてどうすることもできなくなってから動くのではなく、中学校統合後の早いうちに、小学校も動くべきではないかなと考えています。

(議長)

はい。ありがとうございます。時間制限のある中、一通りみなさんの意見をお聞きいたしました。意見を言い忘れた、もう一言話したいという方はいらっしゃいませんか。

(特になし)

この会議も午後8時までと時間的な制約がございまして、みなさんのご協力によりまして、一通り意見を聞くことができたのですが、小学校の意見についても、やはりこの人数を見れば統合ありきかなという感じになるのですが、ただ、統合の時期については、中学校と同じタイミングで考えるべきだという人と中学校が統合してから、複式学級が発生する時にそのタイミングでという意見。どういうタイミングで統合したらいいのか指標、目安みたいなものを示して欲しいという意見もありました。いろんな意見がありましたが、今の状況をみれば統合という形に将来的にはなるのかなという意見が多かったように思います。区ごとが良いのか、町全体で1校にするのが良いのか、通学のこと、まだまだ継続して議論する必要があるかなというのが感想です。そんなことから、前回中学校については統合を急ぐべきだという事で、何をちまちま統合について検討しているんだ、そうではなく、もっと早く統合について議論を進めて欲しいというお叱りに近い意見をいただきました。そういう所から、中学校は統合についての課題をみなさんからもっと意見をいただいて、それからデメリットと言われるところを潰していくような意見をたくさんいただいて案を出していく。それと合わせて小学校についての進め方については事務局と相談して、同時に話を進めるのか、急ぐ中学校を先に進めるのかという所を相談させていただきたいと思います。私自身は、中学校をもっと進めるべきだと感じています。その中で、小学校のこともきっちり頭に置きながら、今日いただいた意見を整理しながら進めていこうかなと思っています。今日のところは本当に時間がないうち、みなさんの意見を一通り聞くことができたと言うことで、みなさんの思いというのも大体分かってきたかなと思います。そんなところで時間になってしまいましたので、まとめにならないのですが、今日のところは閉めさせていただいて事務局にお返ししたいと思います。よろしくをお願いします。

(事務局)

会長、ありがとうございます。会長からもご意見がありましたよう

に、中学校を進めながら、小学校のことも念頭に置きながら議論していく。次回第9回では、その課題点などの説明や提案などをさせていただきたいと考えております。

次第4.

その他

今後の予定としましては、第9回、第10回、第11回を目途に、意見書のまとめができればと考えております。コロナの状況にもよりますが、せっかく集まっていたかのであれば、しっかりと時間をとって議論していただきたいと思っておりますので、第9回を10月中旬、第10回を12月ごろ、第11回を1月ごろのスケジュールを考えております。

また、住民説明会ですが、まだ地元の方へ説明に行けておりません。8月の説明会も中止になりました。これはもう少し緊急事態宣言の様子を見ながら、多くの方に集まっていたかと思っておりますので、集まれる場所、集まれる時期、時間帯を検討しまして、追ってお知らせしたいと思っております。事務局からは以上です。全体を通して何かご質問等ございませんでしょうか。

(質問なし)

時間のない中で、また緊急事態宣言の中、お集まりいただきまして本当にありがとうございました。リモートでご参加いただいた方もスムーズに進めていただきましてありがとうございました。

それでは、閉会にあたりまして副会長より閉会のあいさつをお願いします。

次第5. (副会長)

閉会

みなさん、お疲れの中、どうもありがとうございました。また、コロナ禍ということで、新たな開催の形ということで、事務局の方にはご苦労があったと思います。ありがとうございました。それでは、第8回地域の学校教育のあり方を考える会を閉会したいと思います。みなさんお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。

終了時刻 午後8時10分